

## 消費者調査「遠近両用レンズの不満」を追求

## HOYA 最高峰のメガネレンズ「HOYALUX 極」新発売

～ 敬遠している人、我慢して使っているシニアにこそお使いいただきたい ～

HOYA 株式会社（本社：東京都新宿区、代表執行役 CEO：鈴木洋）のメガネレンズ事業を担う HOYA ビジョンケアカンパニーは、2021年7月15日、ハイエンド遠近両用メガネレンズ「HOYALUX 極」を全国の HOYA レンズ取扱眼鏡店で販売開始いたします。

◆名称：HOYALUX 極（よみ：ほやらつくす きわみ）

HOYALUX 極

<https://www.vc.hoya.co.jp/>



### 開発の背景

一般的に遠近両用メガネレンズともいわれる累進屈折力レンズは、1本のメガネで遠くも近くもハッキリ見るためにレンズの上部（遠くを見る部分）から下部（近くを見る部分）にかけて度数が緩やかに変化しています。その光学設計上、どうしてもレンズの中心から離れた部分に度数のゆがみが生じてしまうため、それがクラクラと感じる「使いづらさ」となり、使用を我慢したり諦めたり、といった原因のひとつと考えられています。

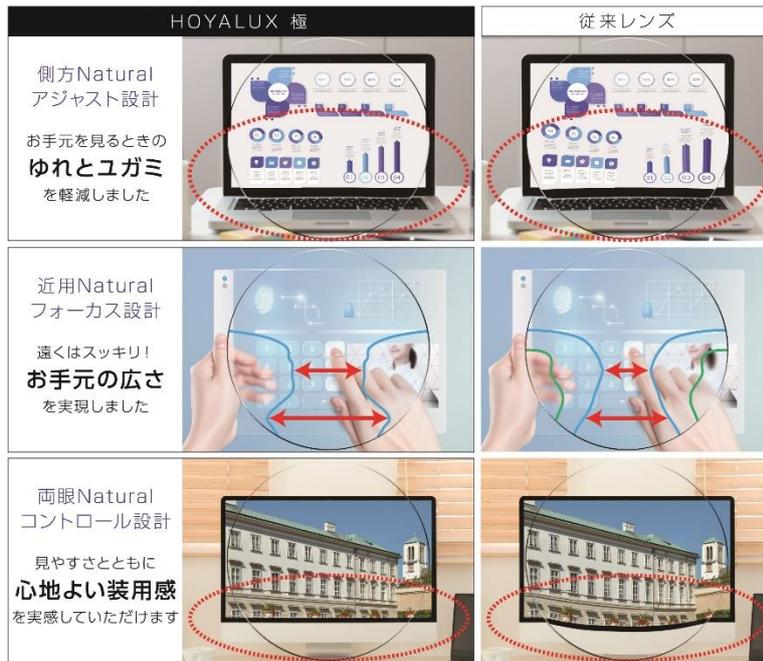
HOYA ビジョンケア技術研究開発部では HOYALUX 極の開発にあたり、累進屈折力レンズを装用されて失敗経験のある消費者や我慢しながら使用されている消費者の声に特に注目しました。その声をより具体的にひとつずつ丁寧に掘り下げ、シミュレーションと装用テストを繰り返すことで「HOYALUX 極」は完成しました。

HOYALUX 極は累進屈折力レンズをかけた消費者が感じる不満「近くが見づらい」ことをとことん追求し、他製品にはない3つの新しい設計（HOYA 社内調査）を取り入れることで、近くがよりナチュラルに見えることを実現。オーダーメイドメガネレンズ「HOYA individual レンズシリーズ」の中でも最高峰ハイエンドクラスのメガネレンズです。

### 【見やすさを極める3つの Natural 設計】

- 1) 側方 Natural アジャスト設計～お手元を見るときゆれとユガミを軽減～
- 2) 近用 Natural フォーカス設計～スッキリ見えるお手元の広さを実現～
- 3) 両眼 Natural コントロール設計～見やすさとともに心地よい装用感～

## HOYALUX 極 3つのナチュラル設計



最高峰のレンズ設計「HOYALUX 極」には HOYA レンズの中でも最上級のレンズコート「ヴィーナスガードコート RUV 抗菌」シリーズを使用。キズやホコリが付きにくく、さらに抗菌機能も付加したコーティングです。

メガネレンズを守るヴィーナスガードコートRUVに抗菌コートを標準装備！  
(サンテックシリーズ、ボラテックシリーズは除く)

\*SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。※抗菌とは、細菌の繁殖を抑制する機能のことです。

## HOYA individual レンズとは

お一人おひとりの度数に合わせて作るレンズ。「見る」をさらに追求すると、選んだフレームや顔立ちまでレンズ設計に反映していく必要があります。例えば、同じメガネフレームをかけたとしても、鼻が高い方と低い方では眼とメガネレンズの距離や傾斜角が異なり、同じ度数でも見え方が異なってきます。そのような装着状態まで計算し「見る」にとことんこだわったのが、HOYA がオーダーメイドでお作りする「HOYA individual レンズ」シリーズです。

(参考) individual レンズを動画でわかりやすく解説

<https://youtu.be/LQlaBsqi4a8>

## 製品情報

▽発売日：2021年7月15日

